



園だより

2022年2月1日発行
蒲田らびっと保育園

立春を迎え暦の上では春になりますが、まだまだ厳しい寒さが続いています。肌突き刺さるようなピリッとした空気に頬を赤く染めながら、白い吐息をまるで汽車ポッポの煙のように吐いてみたり、小さい体で季節を感じながら戸外遊びを十分に満喫しています。『子どもは風の子』は今も昔も変わらないですね！
これからの季節、厳しい寒さのなかにも時折感じる小さな春に心弾ませながら、冬から春への移り変わりを目や肌で感じることができるような活動を取り入れてまいりたいと思います。寒さや空気の乾燥、またコロナウィルス、感染性胃腸炎などさまざまな感染症に対しても油断できない日が続いていますが、園内でできる衛生対策はこれまでどおりしっかり行ってまいります。私たち職員も、十分な休息とバランスの取れた食生活を心がけ、今度も元気に登園してくるお子さんを笑顔でお迎えしたいと思います。今月もどうぞよろしくお願いいたします。



今月の行事

- ☆1日(火)…身体測定
- ☆3日(木)…豆まき会
- ☆17日(木)…避難訓練
- ☆24日(木)…誕生会
- ※毎週火曜日は2歳児リトミックです。
- ※毎週水曜日は『かみしばい会』です。



保育目標

ゆり組



- ①自分の思いを言葉で伝えようとしていたり、やり取りをしながら遊ぶ。
- ②簡単なルールや決まりのある遊びを保育士や友だちと一緒に楽しむ。

もも組



- ①保育士や友だちとのやりとりを楽しみながら、簡単なごっこ遊びをする。
- ②寒い冬でも健康に過ごせるようにする。



2月3日は節分です。節分は「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込めて悪いものを

追い出す日。そこで園でも豆まき会を行います。『豆まき』には、新しい季節(春)を迎えるために、災いやけがれを追い払う『厄払い』の意味があります。みんなで元気いっぱい豆をまき、心の中の「おこりんぼう鬼」「なきむし鬼」「いやいや鬼」…を追い払いましょうね！子どもたちの笑顔とともに、1年の無病息災を祈りたいと思います。
※豆まきの後には、「豆を詰まらせて死亡」という悲しい報道を目にします。こんな事故を起こさないためにも、園では新聞紙を丸めて作った豆を使用します。本物の豆は使いませんのでご安心ください。ご家庭で豆まきをされるかたもいらっしゃることと思いますが、『楽しい行事に潜んでいる危険』に十分お気をつけくださいね！

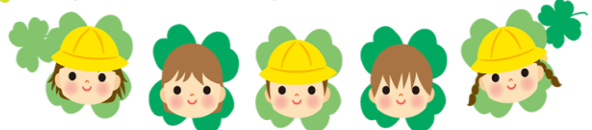


子どもが育つ魔法の言葉

子どもとの関わりに悩んだり躓いたとき、また自分を見つめ直すときに何度も読み返す『子どもが育つ魔法の言葉』(ドロシー・ロー・ノルト著)という本があります。その中からいくつかの言葉を抜粋して紹介します。

- ★けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる。
- ★とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる。
- ★叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう。
- ★励まされて育った子は、自信を持つようになる。
- ★ほめられて育った子は、明るい子に育つ。
- ★愛されて育った子は、人を愛することを学ぶ。
- ★認められて育った子は、自分が好きになる。

子育てに悩んでいる方にぜひこの本をお勧めします。
この本のなかにヒントが見つかるかもしれません！



気温が低く乾燥した日が続いているためか、咳をしているお子さんが目立ちます。乾燥が原因の咳もありますが、ウィルス性のは飛沫感染によって広がっていきます。『熱』とは違い『咳』で仕事は休めないという方がほとんどでしょう。しかし無理して登園し、悪化してしまい長くお休みされてしまうお子さんもいらっしゃいます。夜間、咳のために何度も起きてしまう、連続した咳がある、喘鳴や呼吸困難がある、呼吸が速いなどの症状がみられるときは、無理をせず保育園をお休みすることをおすすめします。